



宇久っ子

学校だより

令和6年7月16日

文責 岩谷 豪

【校訓】和して学び 自立して歩む

【教育理念】笑顔 あふれる 学校

【教育目標】ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる児童の育成



雨の日が続きますが…

梅雨明けが待ち遠しい長雨の季節です。梅雨末期ということで、雨足もひどく、子供たちの登下校も心配です。また、雨が降らなくても、高温多湿による熱中症が心配で、子供たちが楽しみにしている外遊びも短縮して、涼しい部屋の中で過ごさせている状況です。

そのような雨が続く毎日ですが、植物にとっては恵みの雨です。子供たちが畑で育てている野菜やさつまいも、稲もどんどん成長しています。田んぼまで見に行きましたが、もう、穂が出てきていました。稲刈りも楽しみになってきました。

1学期も残り1週間です。夏休みが楽しみな子供たちは、心がウキウキして、そしてふわふわになってきます。この1週間で気の緩むことがなく安全に過ごせるよう見守っていきます。



～いのちの誕生～

7月10日の朝、1,2年生の畑を見ていると、なんとキュウリの支柱にセミの幼虫が上ってきていました。その後、羽化が始まりました。白くて緑色の体が殻から出てきて、少しずつ羽が伸びていきます。風が強い日だったので、風に大きく揺られながらでしたが、必死につかまりながら成虫へと姿を変えていきました。子供たちにも昼休みに伝え、一緒に羽が伸びていく様子を観察しました。通常は夜に地面から出てきて、明るくなる前に羽化してしまうのですが、お寝坊のセミの幼虫のおかげで、いのちの誕生、つながりを肌で感じることができました。



～先生のがんばり、子供たちのがんばり～

宇久小学校はご存じのとおり他の小学校と違い、少人数の学校のため、3、4年生と5、6年生が複式学級となっています。その特徴として教師が同じ時間に2つの学年の授業を進めています。複式の授業にはメリットがあり、子供たちが主体的に学習を行うことができるようになります。まさに、文部科学省が推し進めている「主体的で対話的で深い学び」につながっています。この主体的な学びを子供たちにさせるために、担任は校内研修等を通して日頃から教材研究や授業改善を図っています。

先日は5、6年生の学級で国語の研究授業を行いました。保護者や地域のみなさんからいただいたアンケート結果をもとに報告文や提案文を書く学習です。子供たちは自らの課題解決に向けて、考えを整理し、話し合い、まとめていました。教師とのキャッチボール型の授業ではなく、子供たちが自ら作り上げる授業でした。

今後も学力調査の結果をもとに分析し、子供たちのより良い学びのために研究を進めていきます。



～学校メディア宣言の取組～

7月はココロねっこ運動の強調月間です。(ココロねっこ運動については、ホームページに紹介しています)今年度の取組の1つとして「学校メディア宣言」を各校で行い、夏休み前に電子メディア利用に対する児童・生徒の意識向上を図ろうとしています。

本校でも1年生から6年生までが参加した児童会議の中で「学校メディア宣言」と各学年で重点的に頑張る目標を立てました。

宇久小学校メディア宣言

「食事の時はメディアを消して、家族との会話を楽しもう」

1、2年生

「テレビを消す係になって、おうちの人と確認する」

3、4年生

「食事の時は、ゲームやスマホを家の人に預ける」

5、6年生

「食事の前にはメディアから離れ、食事の準備を手伝う」

7月8日から12日までは運営委員会が作ったカードをもとに振り返りをしてもらいました。結果をもとに夏休み中のメディア利用について目標をもたせていきます。